



今月の各クラスのおすすめの本はこちらです。10/1より玄関の棚のクリアケースにて掲示します。貸し出しはご遠慮いただいておりますが、ぜひ手に取ってお子様との大切な時間を共有してみてくださいね。

0歳児（ひよこ組）「まあるいたまご」

ひよこのたまご、小さなたまご、水の中のたまご、大きなたまご。たまごが生まれて顔を見せてくれる繰り返し絵本です。しかけ絵本になっていて、歌を歌いながら読んでいきます。こどもたちが大好きで「読んで〜」と持ってくる一冊です♪



1歳児（あひる組）「どんないろがすき」

「どんないろがすき」の歌詞と同じに進むページは、♪どんないろ〜がすき と歌いながらでも読むことができ子どもたちのお気に入りです。



2歳児（ぺんぎん組）「わにわにのおふろ」

ワニのわにわにはおふろが大好き。おふろ場にやってきて、蛇口をひねってお湯を入れ、お湯につかっておもちゃで遊びます。せっけんのあぶくをとばして遊んだあとは、シャワーをマイクに歌まですたうのです！おふろから出ると、ちゃんタオルで体をふきます、「ぐにっぐにっぐなっぐなっぐとね。少し不気味さの漂う木版のわにわにの、存在感、迫力感。

わにわにのおふろ



3歳児（ねこ組）「おでかけのまえに」

日曜日、今日はピクニックに行く日。お父さんも、お母さんも、準備で忙しそう。お母さんのお手伝いに、おにぎりをお弁当箱につめてあげよう。お父さんのバッグのチャックを閉めてあげよう。でも、あんまりうまくはいかないみたい。「おてつたいは もう けっこうよ」と、お母さんがいちばんすてきな服を着せてくれたのだけれど、待ちきれないあやこは…。ピクニックにでかける前の、小さい女の子のはずむ心を、ごくあたりまえの家庭を舞台に描きだした、ほのぼのとのびやかな絵本です。



4歳児（とら組）「水おとこのいるところ」

ひらいたままの蛇口から生まれた、世にもふしぎな水おとこ。はじめは捕らえようとしていた人々も、花に水をあげたり、おいしい水を飲ませてくれる水おとこに、すこしずつ心を開いていきました。人々に追われながらさまよう水おとこは、ついに自分の居場所を見つけるのでした。



5歳児（らいおん組）「おしゃべりなたまごやき」

たまごやきが大好きな王さまがいました。ある日、王さまは散歩の途中で鶏小屋からにわとりを逃がしてしまいます。もちろんお城は大騒ぎ！にわとりを逃がした犯人さがしがはじまりますが、見つかるわけがありません。犯人が見つからないまま、晩ごはんの時間がやってきました。王さまが大好きな目玉焼きにナイフをいれると、目玉焼きの中からふしぎな声がきこえてきました。その声をきいて王さまはびっくり！さてさて、犯人は見つかるのでしょうか？

